社会的孤立を解決する基盤の取り組みを

髙松　幸雄議員

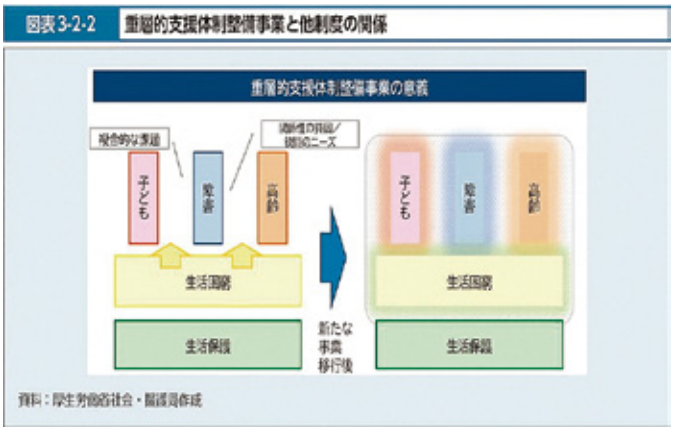
今年度、重層的支援事業を一部開始した

保険福祉部長

問　重層的支援体制整備事業とは、社会的孤立を解決する基盤となる取り組みで、どの相談窓口に行っても、たらい回しにせず、適切な支援に繋げていく相談のワンストップ化を推進し、アウトリーチ機能を強化することが重要である。本市の現状、愛知県と近隣自治体の状況は。

答　この事業は包括的支援、多機関協働、参加支援、アウトリーチ、地域づくりから成る事業で、本市では今年度より包括的相談支援と多機関協働の事業を開始している。今年度は高齢者や障害者など各相談員など、各分野の担当が集まって支援会議等を開催し、複雑なケースの事例報告などを行っている。

愛知県内の54市町村で全部または一部を実施しているのは24市町。近隣で全ての事業を実施しているのは稲沢市と一宮市だ。



▲重層的支援体制整備業の意義
（厚生労働省資料より引用）

問　重層的支援をする人は専門的な知識や経験、また資格等が必要か。

答　福祉職など専門的な知識を有した社会福祉士等が従事することが望ましい。今年度より開始している事業では、福祉職の職員が従事している。

問　重層的支援体制整備をすることでどのように変わっていくのか。

答　単独の支援機関では対応が困難なケースについて、支援方法や役割分担を検討し、複数の支援機関と連携をして支援を進めることが可能となる。また、今までは相談の申出があれば支援を行っていたが、今後は民生委員や各機関からの情報を基に困りごとがあると思われる方を訪問し、支援につなげていく。

行政の殻を打ち破るチャレンジを

問　シティプロモーションとは、地域の魅力を内外に発信し、地域への愛着度を高める活動である。

福井県鯖江市の現役女子高生がまちづくりと市のPRに貢献しているJK課のような取り組み、埼玉県深谷市の地元特産ネギを活用したねぎらい活動のような取り組みの導入は考えられないか。市長の考えは。

答　本市でも今年度からシティプロモーション課を設立させた。行政の殻を打ち破るようなチャレンジ精神を持ったシティプロモーションを今後心がけていかなければならないと思っている。